

表1 紀北管内の牛の斃死事故頭数

	月齡	0	1	2	3	4～12	13～24	25～	計
心不全		3	4	1	－	4	9	5	26
腸炎		2	5	－	1	－	1	1	10
胎子死等		7	－	－	－	－	－	－	7
子牛虚弱症候群		3	1	1	－	－	－	－	5
肺炎		1	－	－	－	3	1	－	5
急性鼓腸症		－	－	－	－	－	2	1	3
ルーメンアシドーシス		－	－	－	－	－	2	－	2
その他		1	－	－	－	1	2	1	5
	計	17	10	2	1	8	17	8	63

※当所発行の牛の検案書および斃死診断書より(期間:平成24年4月～平成28年10月)

表2 症例1の臨床経過

日付	日齢	症状の経過	投薬等
7.10	35		トルトラズリル製剤投与
7.12	37		糞便よりコクシジウムオーシスト確認
7.13	38	血便、脱水(++)	補液＋サルファ剤＋抗生物質A
7.14	39	脱水(+)	補液＋抗生物質B
7.23	48	起立せず、T37.3	補液＋抗生物質C＋抗炎症剤
7.24	49	水様性下痢	補液＋抗生物質C＋抗炎症剤
7.25～8.1			畜主(経口補液＋整腸剤等)
8.2	58	起立せず、褥瘡 水様性下痢 加療後に斃死	補液＋抗生物質C

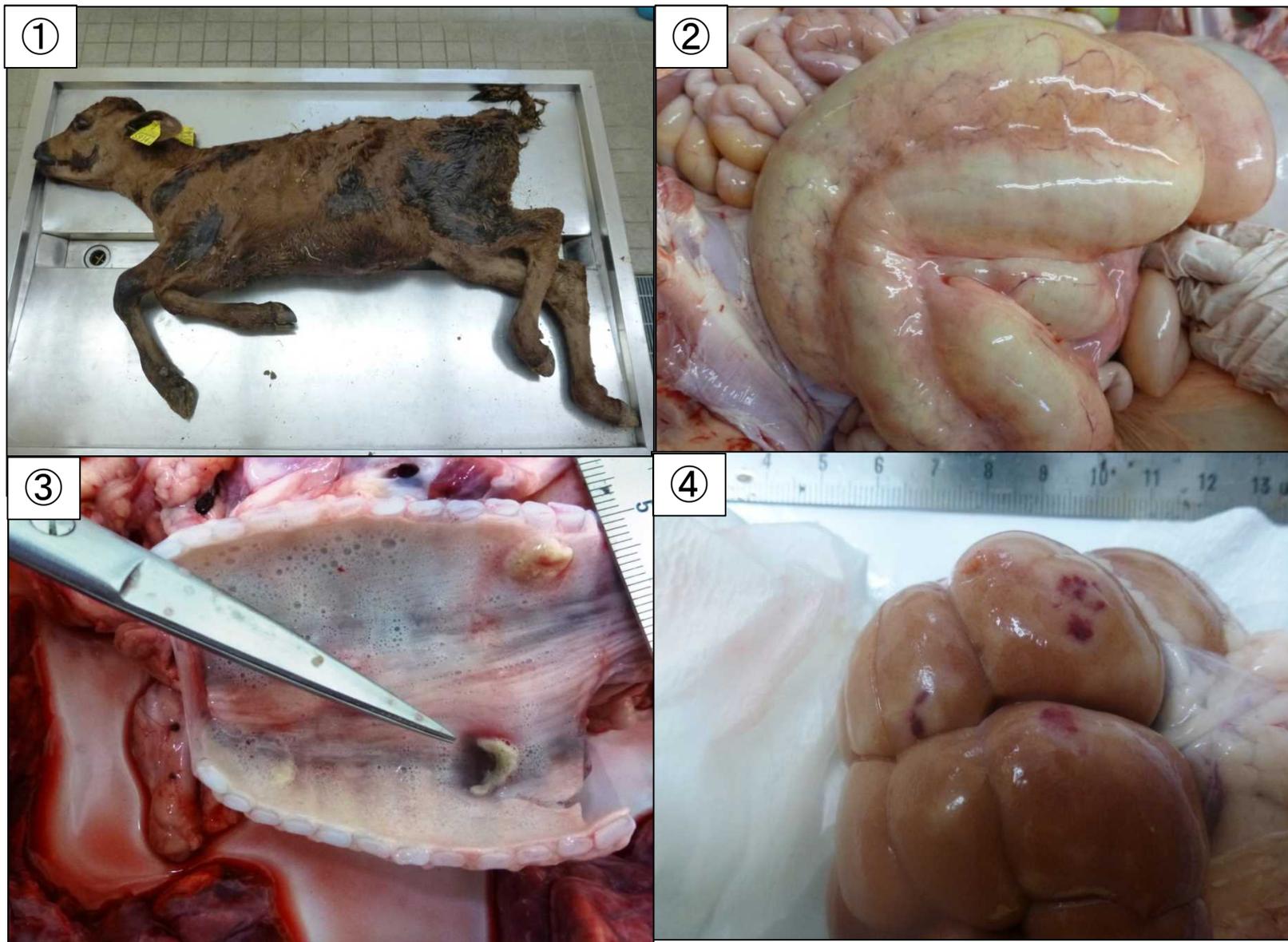


図1 症例1の剖検写真

①全身、②結腸、③気管、④腎臓

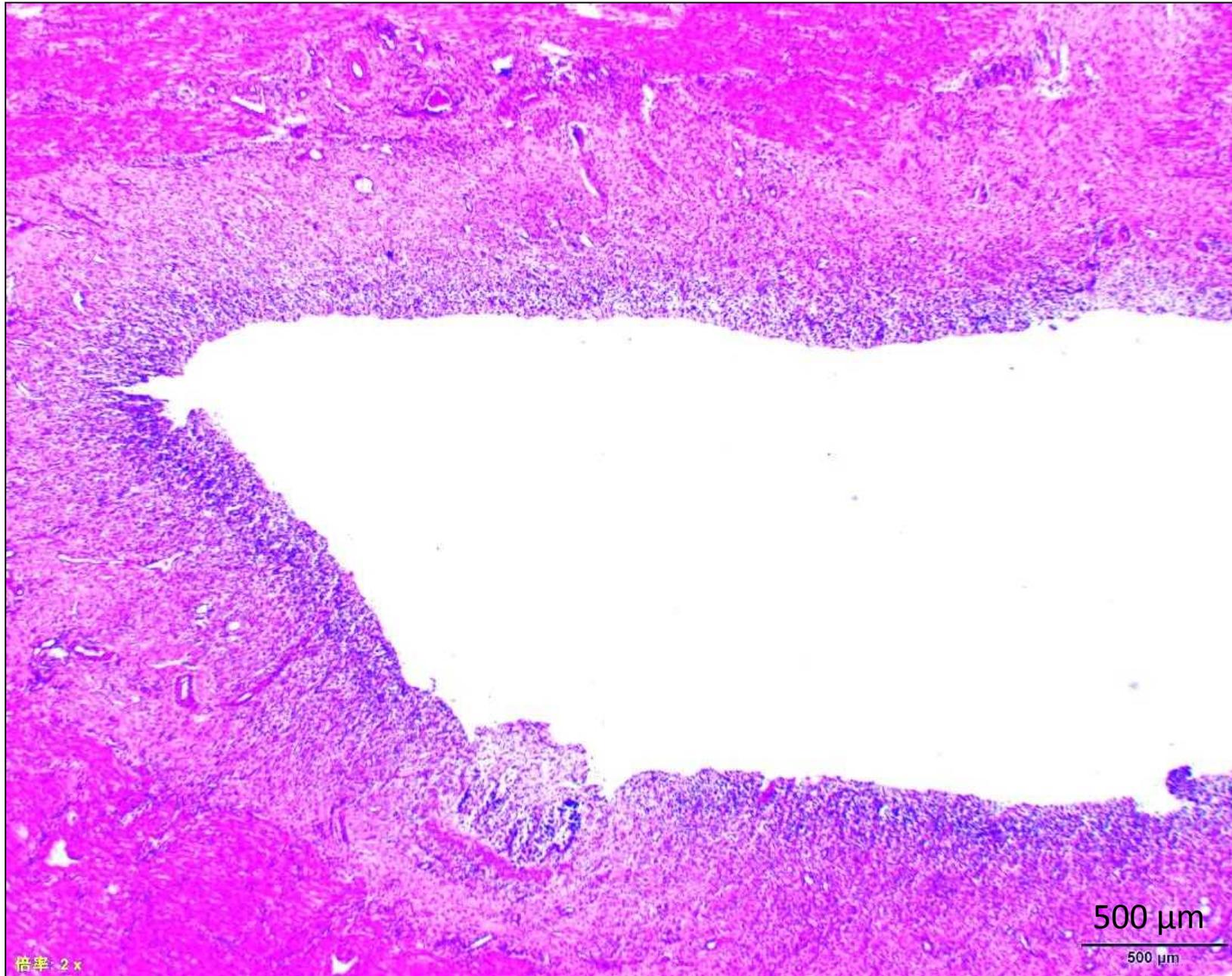


図2 症例1の結腸(HE染色)

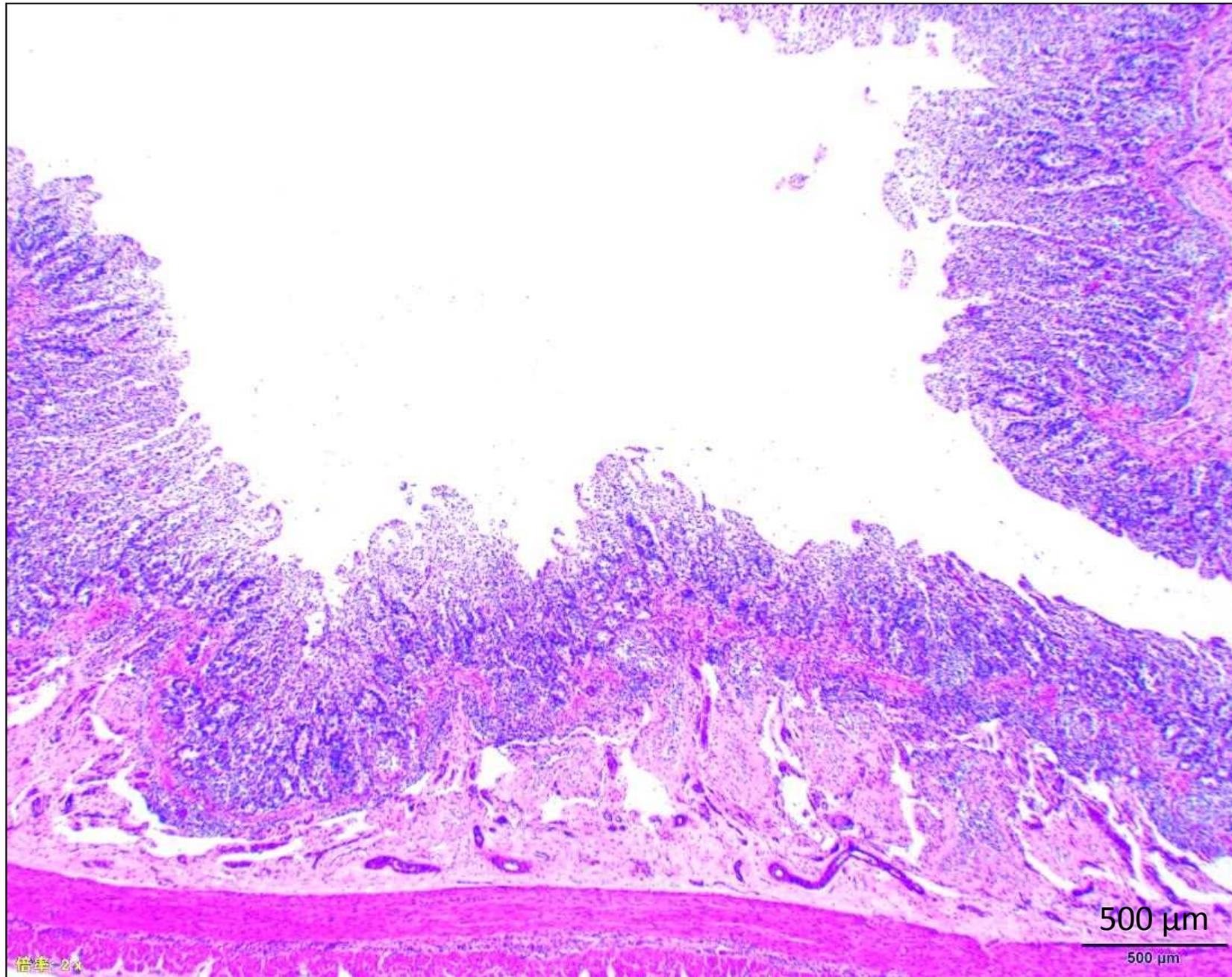


図3 症例1の回腸(HE染色)

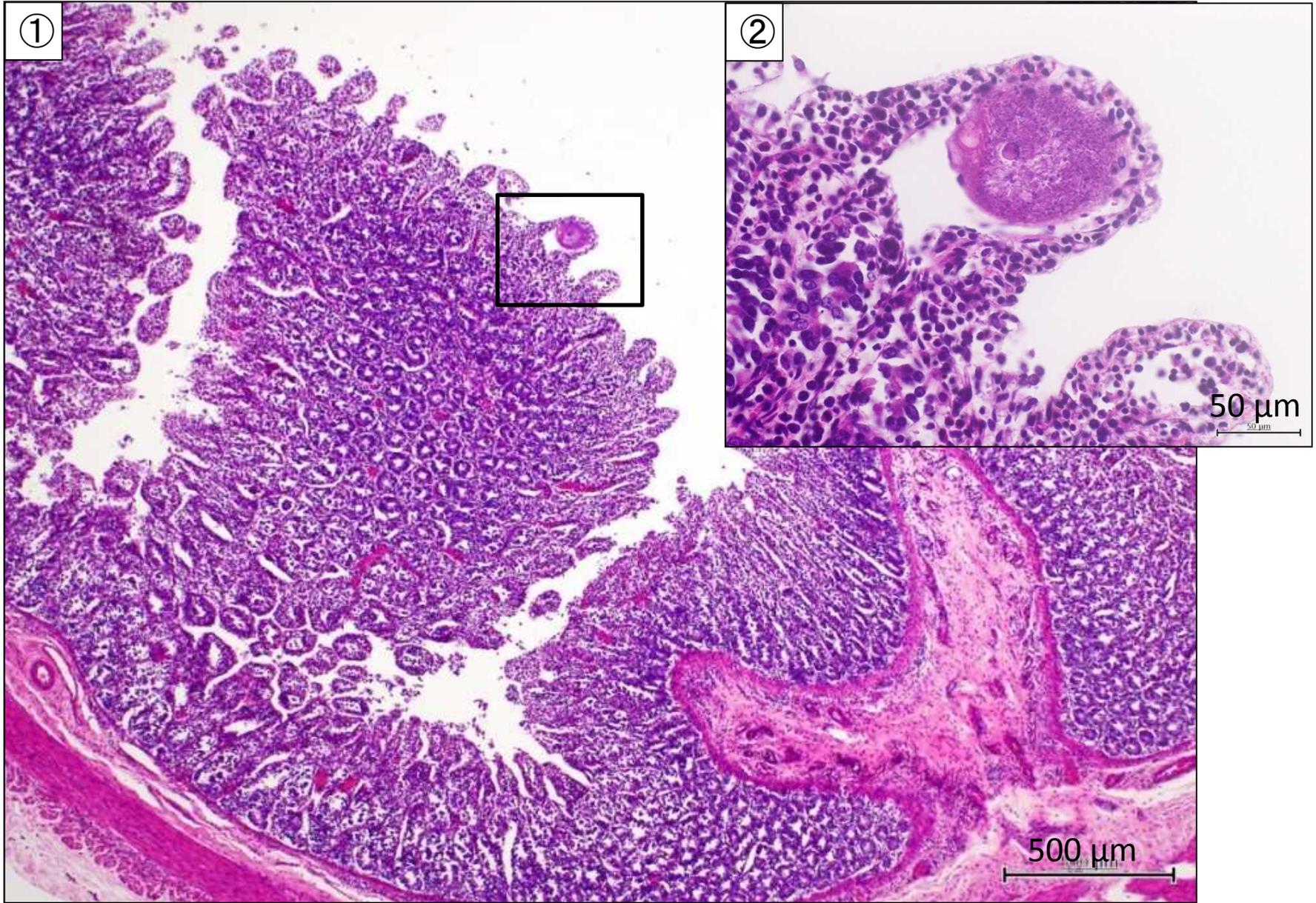


図4 空腸下部のコクシジウム寄生(HE染色)

表3 症例2の臨床経過

月日	経過 日数	症状の経過
3.7	1	無色水様便＋肉片①
3.8	2	泥状便
3.13	6	無色水様便＋肉片
3.14	7	水様便
3.15,16	8,9	泥状便
3.23	16	褐色水様便＋肉片②
3.24	17	褐色水様便
3.25	18	泥状便＋血様物混じる
3.30	23	泥状便
4.2～4	26～28	水様便
4.28	52	水様便
4.29	53	斃死

表4 症例2の血液生化学的検査結果

採材月日	3月7日	3月24日	4月28日
体温	39.7	38.2	36.8
白血球($\times 10^2 / \mu\text{L}$)	66	84	139
赤血球($\times 10^4 / \mu\text{L}$)	938	1019	1131
ヘマトクリット(%)	39.0	42.3	49.7
TP(g/dL)	2.7	2.4	2.6
ALB(g/dL)	1.2	1.0	1.4
A/G	0.8	0.7	1.2
Glu(mg/dL)	53.0	58.0	122.0
Tcho(mg/dL)	17	10	18
BUN(mg/dL)	17.3	29.3	38.9
CRE(mg/dL)	1.3	1.2	2.7
Tbil(mg/dL)	0.5	0.5	0.5
GGT(U/L)	7	8	11
GOT(U/L)	68	66	>1000
GPT(U/L)	6	4	61
CPK(U/L)	130	130	>2000



図5 3月7日採材の肉片



図6 3月23日採材の肉片

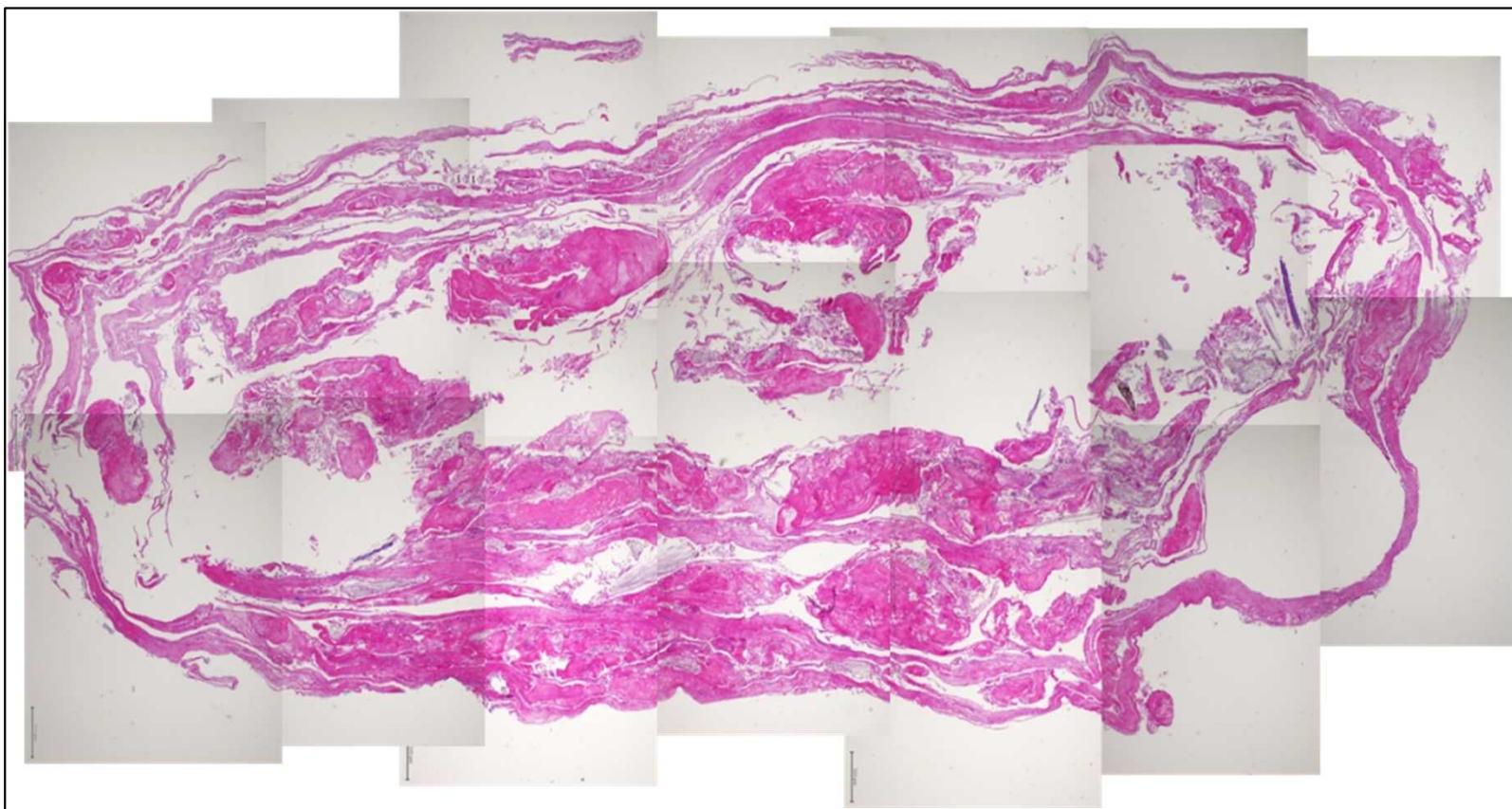


図7 3月7日採材の肉片の一部(HE染色)

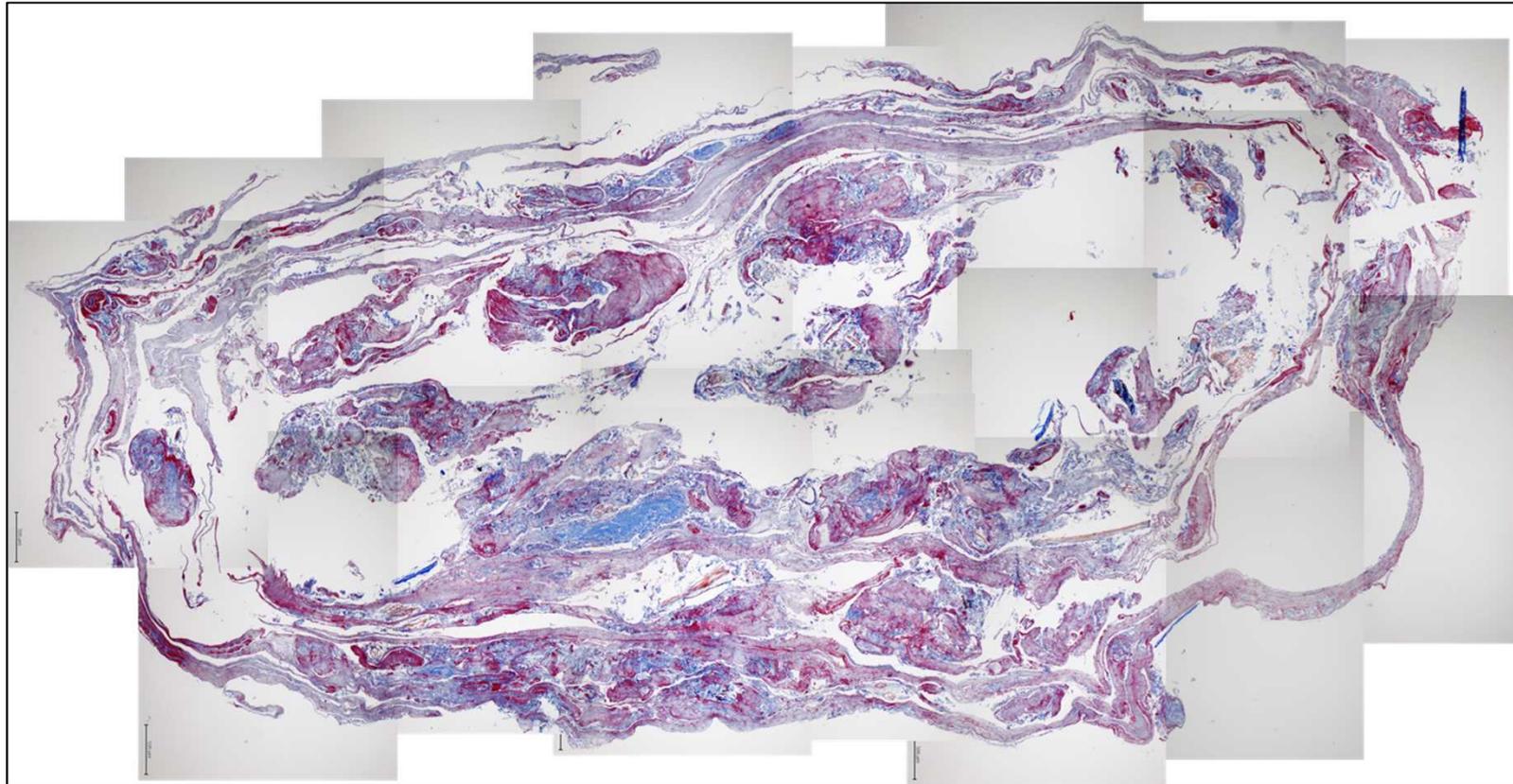


図8 3月7日採材の肉片の一部(マツソントリクローム染色)

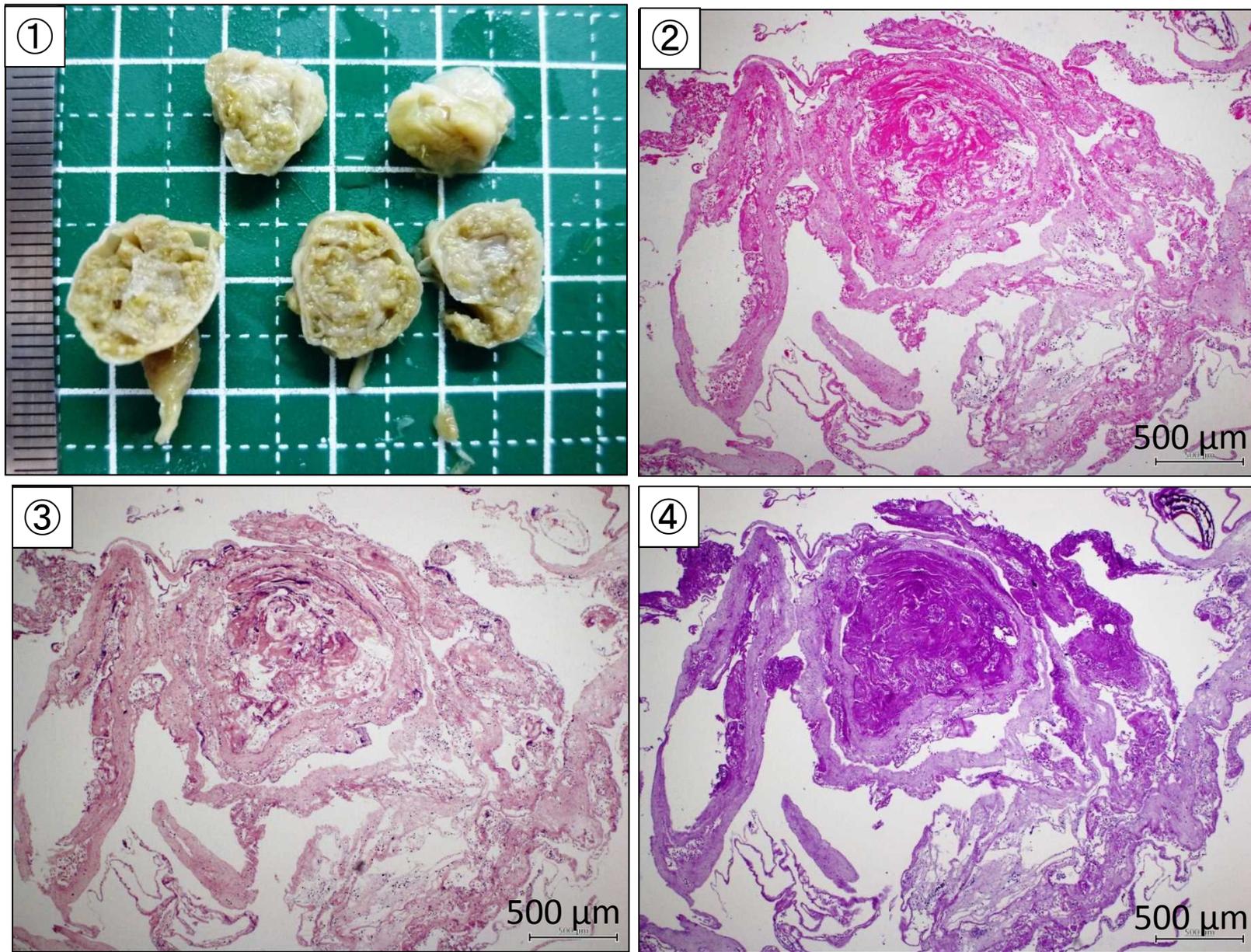


図9 3月23日採材の肉片と染色性の比較

①図6の③の断面(ホルマリン固定後) ②HE染色 ③PTAH染色 ④PAS反応

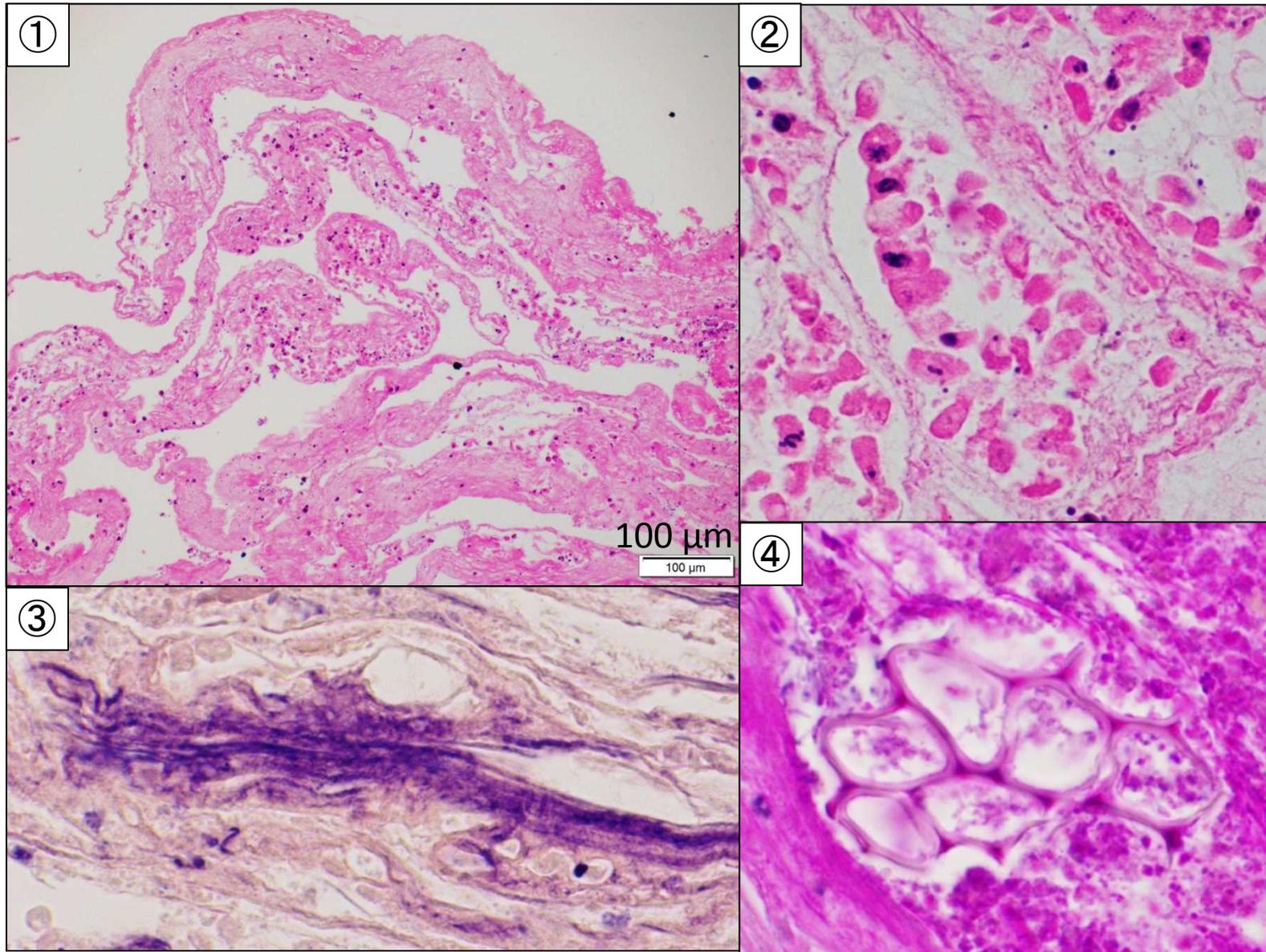


図10 3月23日採材の肉片

①(HE染色) ②(HE染色) ③(PTAH染色) ④(PAS反応)

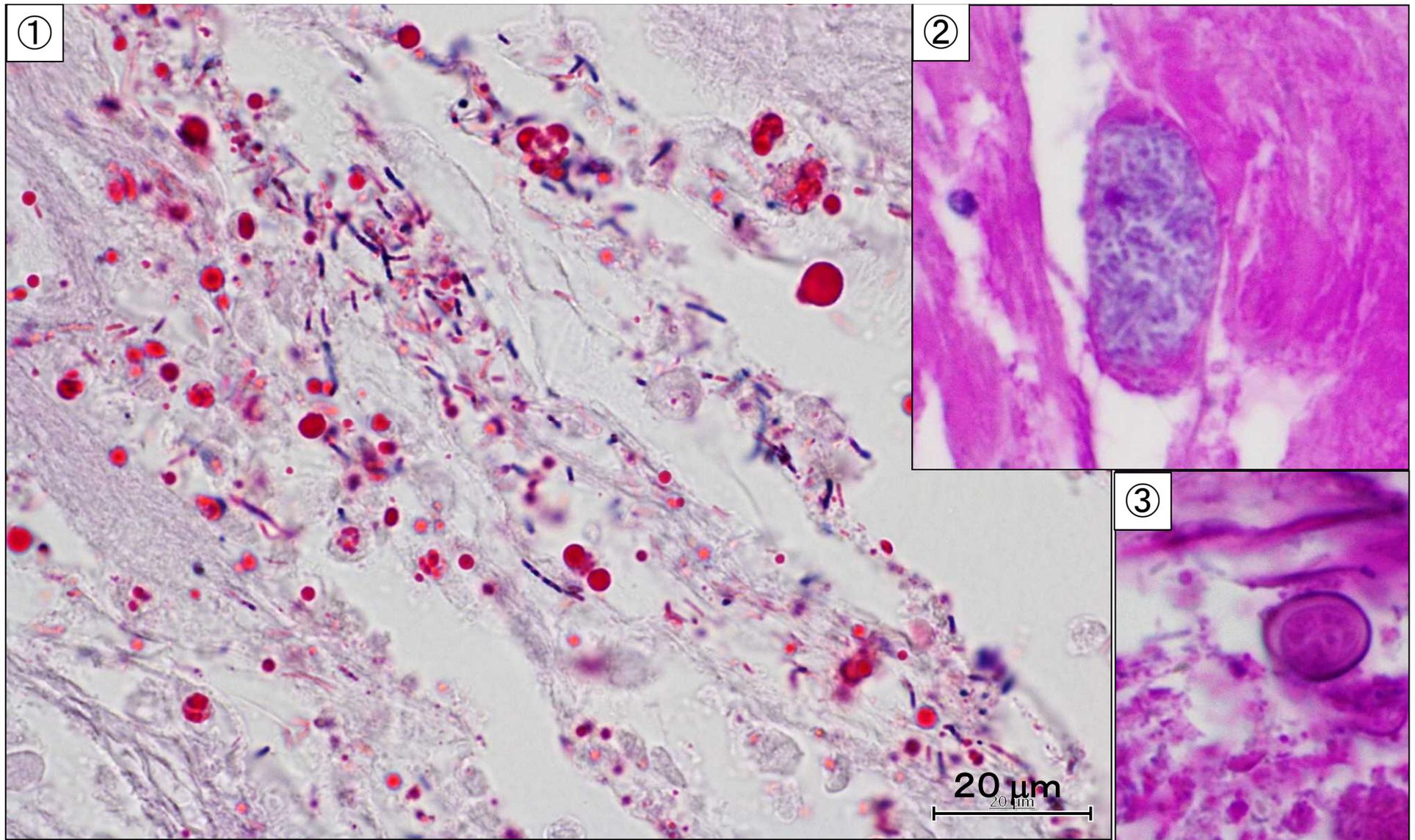


図11 3月23日採材の肉片中に認められた病原体
①(グラム染色) ②(PAS反応) ③(PAS反応)